

お願い

今はまだ2月、約2ヶ月先のことでありますが今年も4月下旬に川合小学校のプールから体育館に架けて「鯉のぼり」を掲揚します。日々のご苦勞で、「鯉のぼり」もたくたくと数も減ってきました。そういうことですので、皆さんのお宅で蔵の中や物置の中或いはタンスの中に「鯉のぼり」が眠っていたら提供して下さい。今一度探してみてもいい。連絡があれば、受け取りに伺います。宜しくお願い致します。

◎川合まちづくりセンター 82-15124

交通安全

人は右 車は左



2月も終えようとしています。3月が目前で春が来たなど感じる季節となりました。入試・卒業式・終業式と、学校関係の行事も目白押しです。また、社会人は異動に伴う転勤もあります。こうした慌ただしさが、一歩間違えると交通事故にもつながります。こんなときにこそ、多忙を極めても普段のとおりに行き止りして安全運転に努めましょう。自分のためでもあり、人のためでもあります。ここ数年、川合町では大きな交通事故は発生していません。皆さんの、安全運転に対する心がけのおかげです。4月6日から15日にかけて、全国一斉に「春の交通安全運動」が始まります。小学校の新入生も初めての通学路を歩きます。また、中学生・高校生の自転車通学も同じことがいえますので、自動車に気をつけて安全に登下校しましょう。自転車通学の人は、春休みの間に友だち同士や家族と一緒に走ってみて、不安な場所や危険な場所の確認をすることも必要です。

大田市交通安全協会川合支部

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり ⑳ 坂根幸夫

吉永藩の井戸

『吉永藩』のことを記した「吉永記」によると、加藤家の家臣は154人、そして、天保8年(1833年)には「家中邸宅の井今八十ばかり存せり」と載っています。家臣は吉永の武家地に住み、多くの井戸が掘られたはずですが、そもそも加藤家の御館は、大田の大沢に建てられる予定でしたが、「水の性不直」ということで、この吉永の地になりました。吉永はそれだけきれいな水が出るところでした。

こうした土地ですので、その頃宅地だった所にあった井戸は今も残っているのではないかと、吉永上・下の地をまわり探してみました。

吉永上

- 井戸の形で残っている 28
- 埋めた跡が残っている 7
- 平に塞いで使っている 3
- 記憶の中に残っている 11
- 吉永下
- 井戸の形で残っている 11
- 埋めた跡が残っている 4
- 平に塞いで使っている 1
- 記憶の中に残っている 9

吉永には今もかなりの家に井戸がありました。地表に出ている井戸の上部が、石をくりぬいて丸や四角に造ってあったり、地下の部分が丸石で組まれていたりしている古い井戸もありま



した。今は荒れ地や畑、木が植えられている所にもあり、昔は宅地であったことを知らせてくれました。もちろん武士だけでなく、百姓、町人の家も井戸を掘っていたでしょうし、水道が設置されるまで井戸は掘られ、新しい井戸もあると思います。それでも古い井戸は今も残り、今でも使っておられる井戸も多くあることが分かりました。まだまだ探してみると、井戸の跡は見つかると思います。吉永に今もある井戸が、『吉永藩』の証としてこれからも残っていて欲しいと願っています。(吉永藩については「文化財めぐり」⑥を参照して下さい)

お悔み

1月に亡くなられた方

- 出岡 古谷 隆 様
- 神領一 笠井 美子 様
- 向吉永 田中 順子 様
- 神領一 笠井 順市 様

香典返し

謹んでお悔み申し上げます
3名の方より、香典返しにかえて金一封のご寄付を頂きました。厚くお礼を申し上げます。お知らせいたします。

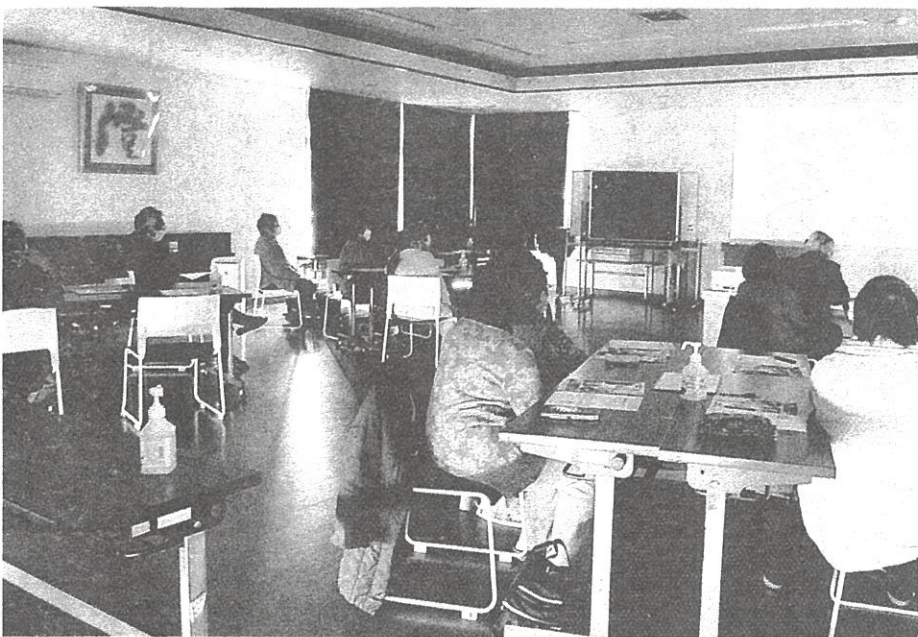
(川合地区社会福祉協議会)

たより

ふれあいカフェ

2月9日(金)、まちづくりセンターにおいてふれあいカフェを開催しました。

今回も映画「老いを生きる」を鑑賞して皆で話し合いをしました。15名の参加でしたがいろいろ意見や感想が聞けて良い会だとおもいました。



非常食づくりコンテスト

1月29日(月)、午前9時から福寿園調理室ひまわりを会場として第32回(第9回コンテスト)非常食づくりを開催しました。一班5名で、減塩・高齢者向け・アレルギー対応・幼児向け等示された内容で食材を選んで調理しました。各班とも僅差で、甲乙点けがたいものでしたが、最後は水の使用量で決しました。結果は、「優秀賞」は大田市社会福祉協議会、「準優秀賞」は川合町自主防災会協議会A、「頑張ったで賞」はJA女性部川合支部でした。入賞を逃した川合町Bと福寿園・ピラのおおだの班も頑張り美味しかったです。



【一口の味(参加者の感想)】

◎限られた食材や調理器具を使って、避難者の体調や栄養面も考慮しての食事づくり、難しいものでしたがとても勉強になりました。

◎毎年非常食づくりコンテストに参加させていただき、今年は「優秀賞」までいただいた感謝感激でした。この経験を、非常時に役立てたいと思います。

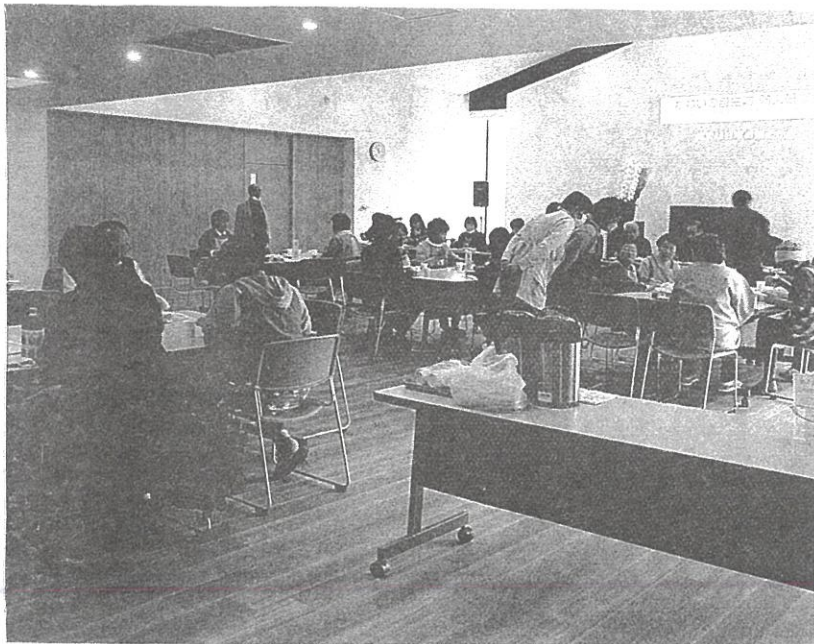
◎今年度、とうとう万年最下位を脱出することができました。この喜びを50〜60文字に収めることが難しいです。全ての皆様に「感謝」です。

◎昨年に引き続き、2度目の参加でした。今年は班ごとにテーマが与えられ、私たちの班は、「小麦粉アレルギーのある人のための食事」でした。小麦粉は麺類やパンだけではなく、醤油やコンソメ・鶏ガラスープの素等あらゆる調味料にも入っておりとても困りましたが、シーチキンや干しシイタケをだし汁にして、味噌やマヨネーズと酢等を使って味付けをしました。また、非常食ということで避難所を想定して栄養価が高く、ボリュームもあり、幅広い年齢層の人たちが食べやすいということを念頭において調理しました。班で良く話し合い、協力したこともあり見事「準優秀賞」を獲得して、とても嬉しく参加した意義がありました。

災害は何時何処で起こるか分からず決して他人ごとではありません。この非常食づくりをとおして、改めて日頃から災害に備えて、考えることが大切だということを感じ自覚しました。

【一口の味(審査員の感想)】

どの料理も、指定された内容に沿ってつくられ五つの味を美味しく堪能しました。食べる人の体調と年齢構成等に合わせた味付けで、避難所での食事の大切さが表れていました。



川合町自主防災会協議会

かわいみまもりたい



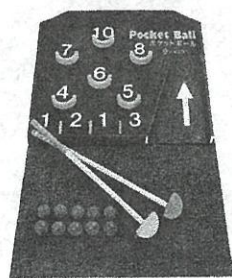
【様変わり】
福寿園が、1月14日に出勤に移転して早や一ヶ月が経過しました。出勤も、通勤や退所時間帯は車両の通行が増えて賑やかになりました。また、業務での通行車両もこれまでの倍になりました。併せて、大田市給食センター関係者の車両と給食配送車両の通行と大変様変わりしました。これまで以上に、交通安全が求められます。また、散歩する人も多く見受けられますので、自動車を運転するときはこれまで以上に安全運転に留意しましょう。また、高瀬橋北側は一時停止ですので、止まってから右見て・左見て・右見て安全を確認して発進しましょう。以前にも書いたと思いますが、お巡りさんと揉めるのは「止まった」「止まっではない」「の押し問答です。ブレーキをかけて、止まったように見えてもタイヤは動いていますので、お巡りさんはその動いている状態を見ていますから、確実に止まったら「右(1)・左(2)・右(3)」と数えて発進しましょう。

【年度末】

令和5年度も残り40日程度、年末も慌ただしい気になります。年度末は年末とは違った慌ただしさになります。「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と、1月になると何故かしら3月が目の前に迫ってくるようになります。大学入試、高校入試と受験生もそれぞれです。また、学校の卒業式、会社等事業所の退職あり、人事異動での新しい赴任先へと、或いは数年振りの元の職場への異動と年度末の3月は悲喜こもごもの季節です。とはいっても、健康が第一ですので体調管理は怠りなくしましょう。そして交通安全も大切です。

通いの場

2月7日は、「ポケットボール」大会をしました(写真)。1チーム7名で、4チームに分かれ対戦しました。



このゲームはスマートボールのようなもので、3メートル離れた所から、矢印が打てばボールを打ち、弱くても届きません。とても難しいのです。特に、10点の穴に入れるのは至難の業です。



優勝したのは4班の皆さん。決勝戦はかなり重圧がかかったと思います。ちなみに、10点を叩き出した方は、石崎ヤエさん、金盛満さん、小倉孝子さんです。また、挑戦してみます。

《3月の予定》

- ◇3月6日(水) ミュージックケア・誕生日の歌
 - ◇3月13日(水) 体力測定・川合音頭
 - ◇3月27日(水) 歌と音楽鑑賞・健康講座(尿失禁)
- 【参加者募集】
通いの場では、新規の参加者を募集中です。いつでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みしましょう。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子(電話82-5124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

行事予定(抜粋)

- ◆2月24日(土) 川合町自治会連合会定例会
内容 令和5年度下半期報告・その他
会場 川合まちづくりセンター
- ◆2月29日(木) JA女性部川合支部研修会
内容 調理及び試食会
会場 福寿園ひまわり(調理室)
- ◆3月3日(日) みまもり健康ウォーク
午後12時30分 受付
午後1時 開会式・準備運動
午後1時30分 出発
コース 川合まちづくりセンター出発
南の遺跡発掘現場(説明)・轟橋
出岡・福寿園(休憩)・帰着
その他 案内チラシ参照
- ◆3月4日(月) さわやかレディース研修会
会場 浜田市旭町 働く犬
その他 浜田市金城町 イチゴ狩り体験
- ◆3月8日(金) 6年生の奉仕活動
場所 小学校周辺のカーブミラーの清掃
その他 みまもりたいの指導と看視
- ◆3月9日(土) 大田第一中学校卒業式
会場 大田第一中学校体育館
- ◆3月15日(金) 川合小学校卒業式
会場 川合小学校体育館
- ◆3月22日(金) 川合小学校学年終了式

川合分団「火の用心」

★全国統一標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』



3月1日から7日まで、全国一斉に『春の全国火災予防運動』が展開されます。大田市消防団も全分団でそれぞれ訓練や防火活動を実施します。川合分団も、川合町の無火災を目指して町内の防火パトロールで火災予防を呼びかけます。また、全団員が熟知するように、小型ポンプの取扱い訓練及び揚水・放水訓練を行います。と同時に、川合町内のみならず建物火災の出動対象の大田町についても地理及び水利について確認します。

《火の用心・その2》

3月が近づくと、人よりも一日でも早く作業を始めたいと、例年の如くあちらこちらの田んぼで草刈りや耕作の準備が始まります。そして刈り取った草を焼却する煙が立ち上ります。焼却は当日の天候を確認して、風の強い日や乾燥注意報の発表時は止めましょう。「これくらいなら」と、火を点けて延焼拡大して慌てるのは「あなた」です。一度に全面を焼却することは止めて、寄せ焼きで当日の風向きを考慮して行いましょう。早く焼けるからと、風上から燃やすことは危険です。火道を切っても、延焼することを防ぐことも必要です。これまでも、大雑把な行為で延焼拡大して多々消防車の出動でお世話になっています。「これくらいなら」はありません。消防署からの火災予防広報で「また消防が言っている」ではありません。『転ばぬ先の杖』で、十分注意して行いましょう。

大田市消防団川合分団 川合町消防後援会

投稿欄

『あっちこっちいく隊 II』
あっちこっち その178



先日メールが入り、開いてみると「了解しました」との返信がありました。「んー?」と、何も送信していないのにおかしいことだと思いました。が、よくよく見ると11月上旬のものでした。相手に電話すると「何も」と返事、スマホをかまっていたたまたま何かの拍子に送信になったものです。便利なスマホの功績ですが、受けた方は迷惑ですな。(苦笑)

『世代のギャップ』

某日、話の中で一寸失敗したことにつけて、「そりゃあ『弘法も筆の誤り』だな」と言うと、40才の某君曰く真面目な顔で「それは何ですか?」と返事が返ってきたので一瞬「んー」となりました。意味を説明後に、「僕『灯台下暗し』もどう言うこと(意味)か分かりません」と言いました。ただ単に「灯台の下で暮らして生活している」程度か、学校で習わなかったのか聞いて見ると、「習っていません。知りません」と当たり前のように返ってきましたのでまたまた意味を説明しました。どちらも簡単に説明後、「はあ、そういうことですか」と。それが今のご時世か、いや、そんなものかなと思いましたが。ただそれだけのことです。これで、年代の差である程度は分かったと思います。某君がこの文章を読んで、「あつ、これ俺のことか」と笑う姿が思い浮かびます。(苦笑いの3乗)

『使用前の点検』

春、今年も春の農作業季節です。農業機械も、農機具庫で出番を待つ長い期間をポツンと待って

いきましたが、春と共にやっと出番がきました。この農業機械は、使用効率の悪い費用対効果の低いものですが、今や農作業を行うにはなくてはならない必要な農業機械です。しかしいざとなつて、「バッテリーが充電不足でエンジンがかからない」「ネジが外れてロータリーの爪がない」「ファンベルトが切れている・切れかかっている」「オイルが・・・」「苗が詰まって植えてない」「欠株になった」と、いうことがないように、使用前には必ず点検をしましょう。高価な農業機械を、大事に大切に取扱いましょ。簡単には、買い替えができません。これから先、秋の稲刈まで八十八の手間かけて米の生産に取り組みます。米価も生産者は高価格を望み、消費者は低価格を望みと相反していますが、美味い米は高くても売れます。さあ、頑張りましょう。

『水が流れない』

井手の漏水修理が終わわり、水門を開けて水を流しました。所用を済めて、2時間後に途中の堰板の操作に行くと、何とということか普段は水が流れるのに下流に全然流れていないではありませんか。暗渠の中で何か詰まっているのかおかしなな。ふと井手の下側を見てみると死角になっていて場所土のうが3袋積んであり水を堰止めていました。修理が終わっても、そのままにしていたため原因が判明して一件落着です。

『カメムシ』

カメムシが多い年は、「雪」が多く降ると言いますが、例年のとおり『地球温暖化』のせいであまり降ることもありません。話を戻して、カメムシが出る出るで、あちこち飛び回り退治するのに辟易します。手につくと匂いがたまりません。

記事を探して「あっちこっちいく隊」